

「(4) 令和3年度第1回子ども・子育て分科会の開催報告について」に対する清水委員からの質問事項等

No.	資料No.	指摘・質問事項	回答
1	1-1 1-2 1-3	全国的な少子化の中、守谷市でも「資料No.1-1」によると、未就学児人口の減少が見込まれていますが、「資料No.1-2」によると保育ニーズの増加傾向にあることがうかがえます。それ故、今回「資料No.1-3」による当初計画からの増員の見直しは妥当性があると思います。 ※「資料No.1-3」は、タイトルが「当初計画と見直し後の教育・保育ニーズ推計の比較」とありますが、内容は保育ニーズのみの推計なので、“教育”という文言は削除した方が良いと思います。	「資料No.1-3」のタイトルについて、“教育”という文言を削除し、「当初計画と見直し後の保育ニーズ推計の比較」に訂正いたします。
2	2-1 2-2	認証保育園から小規模保育事業への移行について、メリットとデメリットが示され、比較考慮するうえで大変良いと思います。 財政面や施設側の観点からの判断は大事かと思いますが、デメリットに示されている「保育料負担が増える保護者がいる事」や「3歳児の転園の問題」などについて、利用者側の意見・要望を把握することも大切だと考えます。	事業移行におけるデメリットである「保育料負担が増える保護者がいる事」や「3歳児の転園の問題」などについて、当該事業者の利用者側の意見の聴取や要望への誠実な説明対応をするよう求めます。
3	3	最下段に「※詳細は別紙のとおり」とあるが、別紙なし	「追加資料1」を添付いたします。
4	4	今後の保育ニーズに対応する確保方策は、おおむね妥当だと考えます。 従前から課題となっている保育士の確保については、市が事業者と保育士が出会う場の設定などの施策を進めてきたことを評価します。今後も、実際の受け入れが保育所の利用定員を下回らないように進めていただきたいです。	今後も保育士等就職合同説明会の実施や保育士への就労助成金の交付等の保育人材確保施策を進め、実際の受け入れが保育所の利用定員を下回らないよう努めます。
5		総合守谷第一病院の近くに開設された病児保育について、開設された後の利用者の状況が不明であるため、審議会や分科会にデータ提供を願います。	病児保育利用状況について、「追加資料2」を添付いたします。
6	5	新規開所保育所等の利用定員は、「資料No.5」に記載がありますが、利用児童数が掲載されていません。そのため、各保育所が定員割れしているか否か不明ですので、利用児童数についてもデータが示されると良いと思います。	令和3年4月1日現在の利用決定者数を示した「追加資料3」を添付いたします。